

## 需給調整市場において需要抑制型で国内最大級となる調整力の安定供出を実現

大太平洋金属株式会社（本社：青森県八戸市、代表取締役：岩舘一夫、以下「当社」）は、2025年9月よりリソースアグリゲーターとして需給調整市場へ参画しております。現在に至るまで、供出している調整力は40MWを超えており、これは需要抑制型において国内最大級<sup>1</sup>の規模となります。この度、本取り組みについて下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 背景と実施内容

太陽光や風力といった再生可能エネルギーは、天候によって発電量が大きく変動するため、近年、これらのエネルギーの導入拡大に伴い、電力系統の安定化を図る「調整力」の重要性が急速に高まっています。調整力とは一般に、電力の需要量と供給量を一致させるために用いられる発電や需要抑制の能力であり、需給調整市場にて取引されております。当社はこれまで培ってきた電力需給管理の経験に基づき、製造プロセスの精密な制御を通じて調整力を供出する需要抑制型VPP（バーチャルパワープラント：仮想発電所）を実現いたしました。

なお、一連の分析および技術的な検証プロセスにおいては、環境・サステナビリティ分野のコンサルティングで国際的な実績を持つERM日本株式会社<sup>2</sup>よりご支援をいただきました。同社の可用性の検証やリスク分析を、当社の製造現場の実効性と融合させることで、リソースとしての供出能力を最大限に引き出す運用体制を構築しております。

#### 2. 意義と今後の展望

今回の取り組みは、地域社会のインフラ安定稼働に直結するだけでなく、再生可能エネルギーの出力変動を吸収する受け皿となります。これは同エネルギーの導入拡大を支える社会的基盤として機能するため、カーボンニュートラル社会の実現に向けた貢献を果たすものと認識しております。

今後は、これによって得られた価値を同様の需要設備や自家用発電設備、蓄電池を持つ事業者様へ広めていくことを考えております。当社は小売電気事業者としての最適な電力供給からアグリゲーターとしてのVPP構築までといった総合的なソリューション提案へと事業を発展させ、エネルギーの最適化を支援する新たなモデルの構築を目指します。こうした活動を通じて、当社は多くの企業様と共に歩み、地域社会の電力安定化および社会全体の環境負荷低減に寄与しながら、持続可能な産業基盤の構築に向けた取り組みを推進してまいります。

<sup>1</sup> 2026年5月時点。電源種別VPPにおける需給調整市場取引実績として当社調べ。

<sup>2</sup> ERM（Environmental Resources Management）150以上の拠点をもち、環境・安全・健康・社会・サステナビリティ分野のグローバルコンサルティングファーム。

<大平洋金属株式会社>

東京本店：東京都千代田区 代表取締役社長：岩舘一夫

八戸本社（製造所）：青森県八戸市

当社は、気候変動対応を経営の優先課題に掲げており、GHG 排出量削減目標として 2030 年度 46%以上削減（2013 年度比）、2050 年度実質ゼロを目指しております。また、2030 年度までに非化石電気比率 50%を達成する目標を設定しており、今回の取り組みは自社目標の完遂のみならず、地域の電力系統の安定化へ寄与する社会的使命を意識したものです。

<ERM 日本株式会社>

本社：神奈川県横浜市西区みなとみらい コンサルティングパートナー：柴田隆之 様

ERM 日本株式会社は、大平洋金属株式会社と協力し、大規模な出力調整を実現できたことを大変意義深く受け止めています。需給調整は、日本の電力システムにおいて再生可能エネルギーを導入・拡大していく上で不可欠な取り組みであり、本件を通じて日本の将来に貢献できたことを心より嬉しく思います。

<本件に関するお問い合わせ先>

大平洋金属株式会社 電力事業部 TEL：0178-47-7340

お問合せフォーム：<https://www.pacific-metals.co.jp/inquiry/>

ERM 日本株式会社

お問合せフォーム：<https://www.erm.com/ja/archive/contact-us/>